令和３年度

当初予算の概要

めがねのまちさばえ

Sabae Japan Eyeglasses

鯖 江 市

目　　次

1　予算規模　……　1

2　未来を担う子どもたちのための施策　……　4

【財政規律の堅持】

（1）財政調整基金残高

（2）一般会計の市債残高

（3）市債残高のうち実質的な負担額

3　歳入の確保　……　5

（1）ふるさと納税制度と本市の取組み

（2）本市のふるさと納税寄附金額の推移

（3）令和３年度における変更点

4　歳出のポイント　……　6

新型コロナウイルス感染症対策および新しい生活様式への対応事業

第２期鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略

5　歳入のポイント　……　22

6　令和３年度　鯖江市一般会計当初予算の状況　……　23

歳　入　……　23

歳　出（目的別）　……　27

歳　出（性質別）　……　31

7　令和３年度鯖江市当初予算における基金現在高　……　36

8　令和３年度鯖江市当初予算における市債現在高　……　37

1　予算規模

一般会計の予算規模は　２５８億４，８００万円　（前年度比３.７％減）

鯖江市は、眼鏡・繊維・漆器などの地場産業をはじめ、雪国であることや眼鏡の分業制によって育まれたお互い様の心、産業を支える女性の活躍、自然、歴史、伝統や文化など本市固有の魅力ある資源を活かしたまちづくりに取り組んできました。

一方で、少子高齢化が進み、若者の地方離れが深刻化するなど、総人口の減少も見込まれる中、人口減少の克服、地域経済の活性化、さらには強靭で安全・安心かつ環境にやさしい地域社会の形成なども課題となっており、それらを受けて、社会保障費の増加や公共施設の更新・長寿命化など多額の財政需要も見込まれています。

そのような中、昨年来の新型コロナウイルス感染症拡大により、市民生活および地域経済は深刻な影響を受けています。市民の皆さまの生命と生活を守り抜くという強い信念のもと、時機を逸することのない効果的な施策に取り組んでいくためにも、効率的で安定した財政運営がこれまで以上に求められています。

令和３年度当初予算においては、コロナ禍の厳しい財政状況の中、経常経費の削減に努める一方で、３月補正予算と併せてコロナウイルス感染拡大防止に取り組むとともに、安全・安心な生活に向けた国土強靭化施策や雪害への対応、教育、子育て環境の充実に努めるなど、「守るべきものは守る」といったメリハリのある予算編成を行いました。

地方自治体に求められるのは、持続可能な安定した自治体経営であり、地域社会の構築です。「めがねのまちさばえ」の認知度が向上した今、女性活躍をはじめとするＳＤＧｓ推進の取組みに磨きをかけ、国内外からの多様な人々や企業と繋がり、経済、社会、環境の三側面から好循環を創出する中で、更なる飛躍に向けた、「明日に笑顔をつなぐめがねのまちさばえ」予算としました。

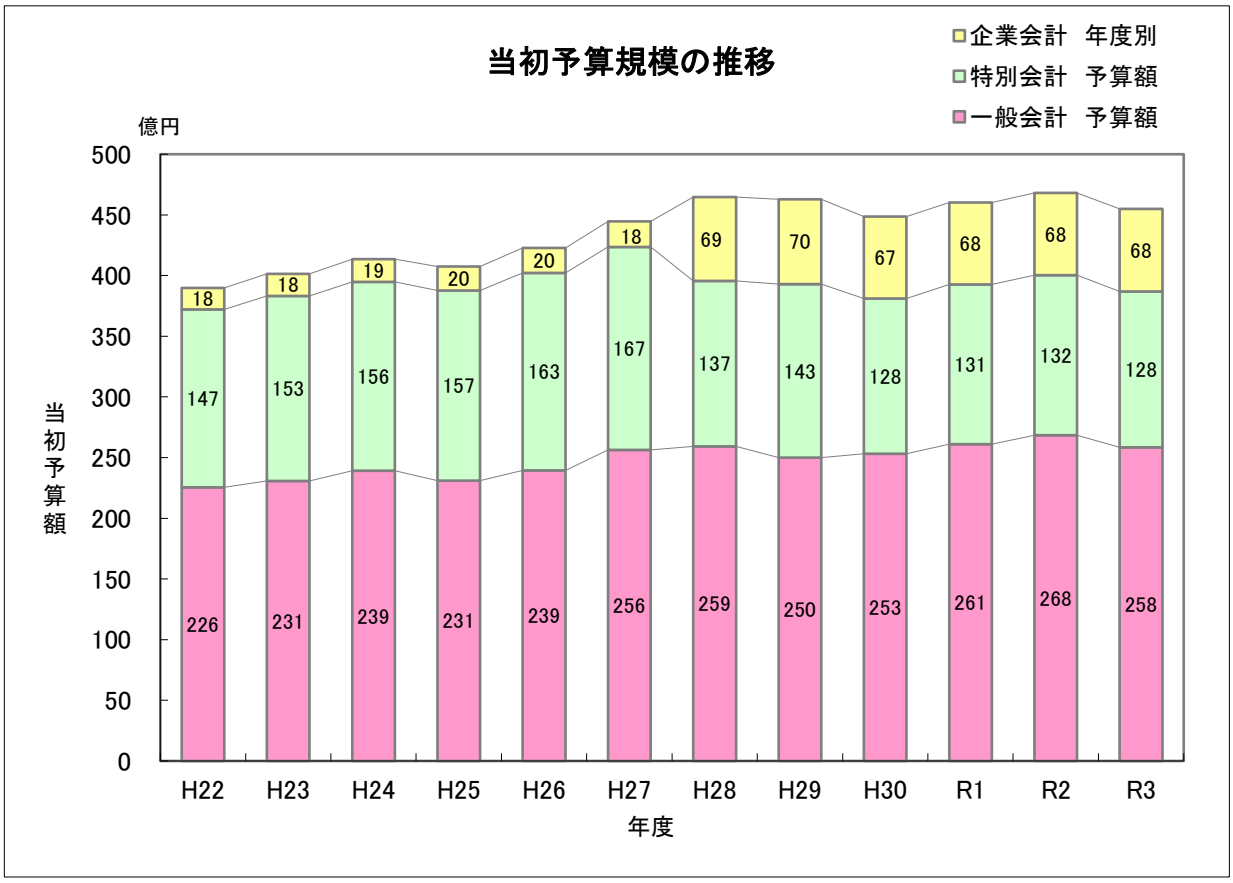
令和３年度当初予算キャッチフレーズ

『明日に笑顔をつなぐめがねのまちさばえ』

（単位：千円・％）

会計名		令和３年度 ①	令和２年度 ②	増減額 ③(①－②)	増減率 ③/②
一般会計		25,848,000	26,840,000	△992,000	△3.7
特別会計	国民健康保険事業特別会計	6,187,000	6,400,000	△213,000	△3.3
	後期高齢者医療特別会計	841,000	763,500	77,500	10.2
	介護保険事業特別会計	5,795,400	6,033,900	△238,500	△4.0
	総合開発事業特別会計	7,000	7,000	0	0.0
	小計	12,830,400	13,204,400	△374,000	△2.8
企業会計	水道事業会計	1,928,200	2,049,200	△121,000	△5.9
	公共下水道事業会計	4,230,700	4,084,200	146,500	3.6
	農業集落排水事業会計	647,500	628,300	19,200	3.1
	小計	6,806,400	6,761,700	44,700	0.7
合計		45,484,800	46,806,100	△1,321,300	△2.8

（１）　全会計の予算規模の推移（当初予算ベース）



（２）　一般会計の当初予算規模　（令和３年度は過去４番目）

１番	令和　２年度	２６８億４，０００万円
２番	令和　元年度	２６１億１，０００万円
３番	平成２８年度	２５９億１，０００万円
４番	**令和　３年度**	**２５８億４，８００万円**
５番	平成２７年度	２５６億３，６００万円

（３）　全会計の当初予算規模　（令和３年度は過去６番目）

１番	令和　２年度	４６８億　６１０万円
２番	平成２８年度	４６４億７，７２０万円
３番	平成１９年度	４６３億９，０３０万円
４番	平成２９年度	４６２億８，５８０万円
５番	令和　元年度	４６０億１，２９０万円
６番	**令和　３年度**	**４５４億８，４８０万円**

（４） 特別会計・企業会計の予算計上額 （単位：千円・％）

① 鯖江市国民健康保険事業特別会計

令和３年度	令和２年度	増減額	増減率
６，１８７，０００	６，４００，０００	△２１３，０００	△３．３

国民健康保険事業費納付金の減と被保険者数の減により、予算額が減少しました。

② 鯖江市後期高齢者医療特別会計

令和３年度	令和２年度	増減額	増減率
８４１，０００	７６３，５００	７７，５００	１０．２

後期高齢者医療広域連合納付金の増により、予算額が増加しました。

③ 鯖江市介護保険事業特別会計

令和３年度	令和２年度	増減額	増減率
５，７９５，４００	６，０３３，９００	△２３８，５００	△４．０

保険給付費の減により、予算額が減少しました。

④ 鯖江市総合開発事業特別会計

令和３年度	令和２年度	増減額	増減率
７，０００	７，０００	０	０．０

事業継続により、予算額を前年度同額としました。

⑤ 鯖江市水道事業会計

令和３年度	令和２年度	増減額	増減率
１，９２８，２００	２，０４９，２００	△１２１，０００	△５．９

建設改良費の減により、予算額が減少しました。

⑥ 鯖江市公共下水道事業会計

令和３年度	令和２年度	増減額	増減率
４，２３０，７００	４，０８４，２００	１４６，５００	３．６

建設改良費の増により、予算額が増加しました。

⑦ 鯖江市農業集落排水事業会計

令和３年度	令和２年度	増減額	増減率
６４７，５００	６２８，３００	１９，２００	３．１

建設改良費の増により、予算額が増加しました。

２　未来を担う子どもたちのための施策

財政規律の堅持　〈未来を担う子どもたちに負担を残しません！〉

（１）財政調整基金残高

〇財政調整基金残高　２２億５，８７０万円（当初予算時の年度末残高見込）

〈新型コロナウイルス感染症の急速な拡大に迅速かつ的確に対応します！〉

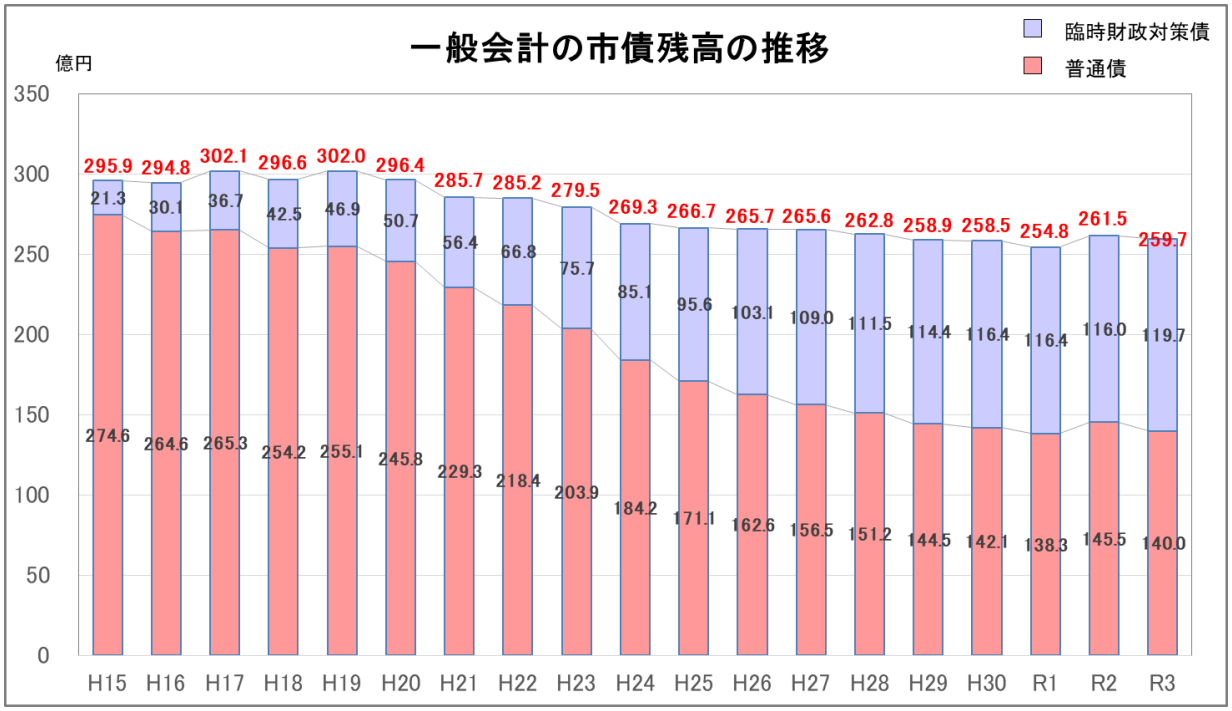
令和２年度の財政調整基金の取り崩し額は、８億４，０５０万円で、主に新型コロナウイルス感染症対策費に充当しております。引き続き、新型コロナウイルス感染症対策や不測の自然災害時にも、時機を逸することのない効果的な施策を、迅速かつ的確に対応できるよう、決算剰余金を積み立てるなど、将来を担う子や孫に過大な負担を残さない適切な財政運営に努めてまいります。

（２）一般会計の市債残高

〇一般会計市債残高　２５９億７，２８１万円（当初予算時の年度末残高見込）

〈確実に借金を減らしています！将来に過大な負担を残しません！〉

新規の市債発行額を元金償還額以下に抑制することで、着実に市債残高を減少させてきましたが、令和２年度は、公民館や文化施設の大型改修事業が集中したことに加え、有利な補正予算債を活用するため事業を前倒ししたことから、臨時財政対策債を除いた市債（以下、「普通債」）は増加しましたが、今後は減少する見込みです。



（四捨五入による端数処理のため、合計額が一致しない箇所があります）

＊赤字の額は一般会計市債残高。
＊令和元年度までは決算額、令和２年度は補正後の予算額、令和３年度は当初予算時。

（３）市債残高のうち実質的な負担額は約３４％です（６６％は交付税措置されます）

令和２年度末の市債残高見込額約２６１億５，０５１万円の内訳は、普通債が約１４５億５，４１４万円、臨時財政対策債が約１１５億９，６３７万円です。臨時財政対策債は交付税の振替であるため後年度に１００％普通交付税で措置されます。

また、普通債も、事業費補正により後年度に交付税措置があるいわゆる優良債を中心に借入を行っており、約３９％が普通交付税で措置される見込みです。そのため、令和２年度末の市債残高見込額のうち市が自主財源で償還しなければならない実質的負担額は、約９０億円となります。今後も、更なる市債残高の減少と優良債の積極的な活用に努めます。

３　歳入の確保 <少子高齢化社会に対応するため積極的な歳入確保に努めます！>

（１）ふるさと納税制度と本市の取組み

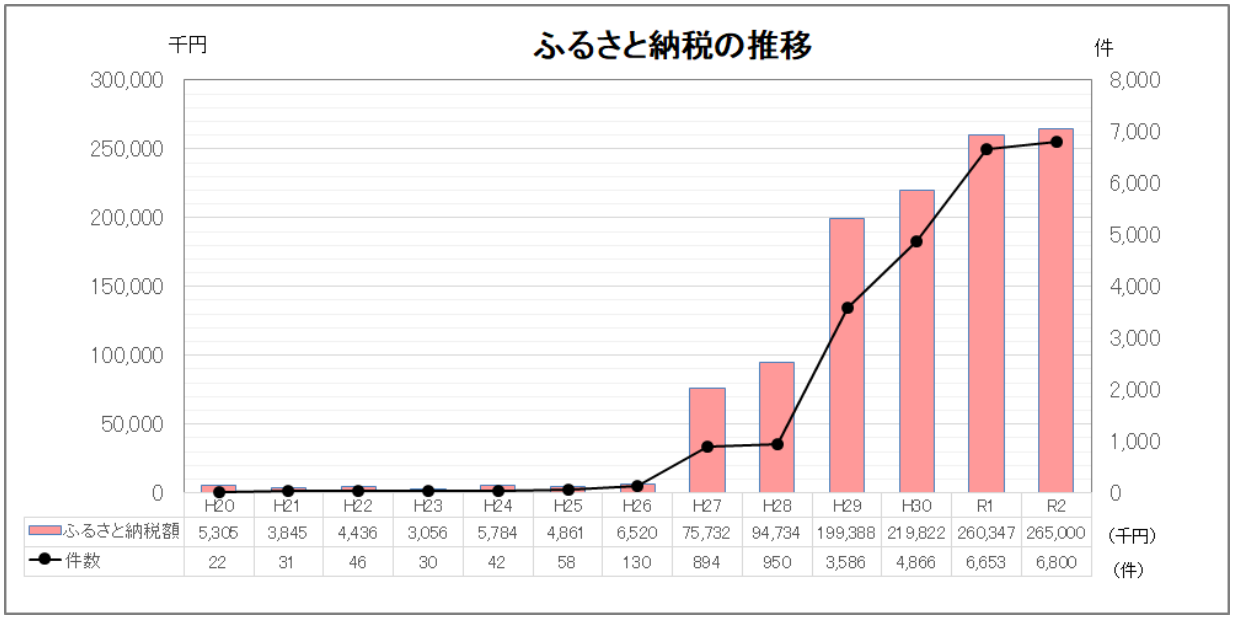
ふるさと納税制度は、個人住民税の寄附金税制の拡充により平成２０年から始まりました。地方自治体に対する寄附のうち２，０００円を超える部分について、個人住民税所得割額の概ね２割を上限とする金額が所得税と合わせて控除されます。

各自治体が工夫を凝らしふるさと納税の獲得に力を入れており、本市は「ふるさとチョイス」「さとふる」「ＡＮＡのふるさと納税」「楽天ふるさと納税」など４つのふるさと納税ポータルサイトを利用して本市へのふるさと納税寄附を呼びかけています。

市内の地場産業を中心とした特色ある返礼品の充実を図ることにより「さばえの魅力」を全国各地に広く発信することでふるさと納税寄附額の増加につなげています。

（２）本市のふるさと納税寄附金額の推移

令和２年度のふるさと納税寄附金は、１月末までの間は前年度を上回る金額・件数で推移していることから前年を上回る総額２億６，５００万円を見込んでいます。



＊令和２年度は、年度末見込みの金額・件数

（３）令和３年度における変更点

本市は国内シェア９０％超の眼鏡フレーム産地であり、眼鏡を返礼品として扱うことができる唯一の自治体です。現状、眼鏡引換券が市内と東京の２店舗でしか使用できない点に拡大の余地があります。より多くの人に「Ｍａｄｅ　ｉｎ　さばえ」の眼鏡に関心を持ってもらえるよう、使用範囲を拡充することやお手頃な価格帯の新設等をこれまでの取り組みに加えて実施することで新たな支援層の確保を図り、令和２年度予算に５，０００万円を追加した３億円を予算化しました。

４　歳出のポイント

新型コロナウイルス感染症対策および新しい生活様式への対応事業

昨年来の新型コロナウイルス感染症の拡大は、人々の生活に大きな変化をもたらしました。本市においても、市民生活、地域経済や地場産業に深刻な影響を及ぼしています。このような中、何よりも市民の皆さまの生命と生活を守り抜くという強い信念のもと、新型コロナウイルス感染症対策として、３８事業、８億１，１７７万円を計上し、教育、子育て、生活困窮者、地場産業や公共交通等への支援を行います。また、コロナ禍における「新しい生活様式」に対応するため、会議、イベントなどをオンラインで行うなど、非対面式、非接触型で行うための環境整備を行います。

（１）感染症対策　　４事業　計２億８，３０２万円

【新規】新型コロナウイルスワクチン接種対策費　　２５８，０００千円

新型コロナウイルス感染症の発症を予防し、死亡者や重傷者をできるかぎり少なくするとともに、さらなる感染拡大を防ぐため、市民に予防接種を実施します。

【新規】新型コロナウイルス感染症対策事業　　２２，２６２千円

庁舎内、公共施設等で使用するマスク・消毒液等の新型コロナウイルス対策消耗品を購入します。

【新規】小学校校舎消毒業務　　２，２０４千円
【新規】中学校校舎消毒業務　　５５１千円

新型コロナウイルス感染症対策として、小・中学校校舎の消毒作業をします。

（２）産業支援　　９事業　計１億２，６９８万円

【新規】さばえものづくり補助金　　４４，７８０千円

コロナ禍でも果敢に取り組む事業所の積極的な活動に対して、引き続き支援を行うため、販路開拓・人材育成・経営改善等の補助金を「経営力向上補助金」に一元化し、利便性を高めるとともに、コロナ禍の現状を踏まえ補助率を従来の１／２から３／４に引き上げます。また、経営改善を目的に、全国各地の高いスキルを有する人材を副業社員として起用する事業所への補助金、および男性の育児休業取得促進を目的とした事業所向けの助成金を新設します。加えて、眼鏡の産直ショップ開設補助金の対象に漆器、繊維を加え、さらなる産業観光の推進を目指します。

【新規】さば割クーポン発行事業　　６，０００千円

市内の小売･サービス業等で使用できるデジタル割引クーポン（さば割クーポン）を発行し、ウィズコロナ時代に対応した販売促進を行い、消費喚起を図ります。

【新規】ＳＤＧｓに対応した地場産業ＤＸプラットフォーム事業　　５，０００千円

本市の地場産業企業等を対象に今後の事業活動に欠かせない「環境対応」と「ＤＸ」への理解を促進し、セミナー開催等を行います。

【新規】海外で売れる商品の開発支援事業　　５，０００千円

コロナ禍で販路縮小が懸念される中、越前漆器の魅力の訴求方法を探るとともに、産地で女性チームを立ち上げ、専門家の監修の下、海外の生活様式や趣味嗜好に応じた商品を開発し、漆器の新たな市場開拓に取り組みます。

【新規】さばえの産業ＰＲ事業　　３，０００千円

鯖江商工会議所と連携し、コロナ禍におけるデジタルを活用したニューノーマルな販促手法の確立支援に取り組みます。

【新規】県経営安定資金利子補給金（新型コロナウイルス対策分）　４８，０００千円
新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている中小企業への資金繰り支援として、福井県経営安定資金（新型コロナウイルス対策分）の融資を受けた市内中小企業者に対し、支払った利子全額を補給します。

【継続】農の人財育成支援事業　３，４００千円
新型コロナウイルス感染拡大をきっかけに、地元で働きたい若者の農への回帰・定住を促進するとともに、農業従事者の減少と高齢化に伴い、新たな担い手として自立できる農業者の新規参入を促進します。

【新規】農業法人次世代育成支援事業　１，５００千円
新型コロナウイルス感染症が収束しない中、農業従事者の減少と高齢化が進んでいることから、地元で働きたい若者の農への回帰・定住を促進するため、新たな担い手を受け入れる農業法人を支援します。

【新規】鯖江市貸切バス事業者車両維持支援事業　１０，３００千円
市コミュニティバス運行の継続を図ることを目的に、受託事業者への支援として、所有する貸切バスの維持経費の一部を補助します。

（３）生活支援　７事業　計１億９，９７４万円
（実質事業費　計２億６，８７４万円）

【新規】小中学校給食費補助事業　１１３，１６２千円
小中学校の児童生徒の給食費の半額相当（月額２，５００円）を補助し、負担軽減を図ることで、子育て世帯を支援します。
保護者実費負担　歳入減△５７，６１３千円
実質事業費　１７０，７７５千円

【新規】保育所給食費補助事業　２１，６００千円
【新規】幼稚園給食費補助事業　２，０００千円
私立保育所・幼稚園等の園児の給食費の半額相当（月額２，２５０円）を補助し、負担軽減を図ることで、子育て世帯を支援します。
公立保育所の保護者実費負担　歳入減△１１，３８５千円
幼稚園給食費補助分　２，０００千円
保育所給食費補助分　２１，６００千円
実質事業費　３４，９８５千円

【継続】生活困窮者自立支援事業（住居確保給付金）　５，４００千円
離職により住宅を失った、またはその恐れある生活困窮者等に対し家賃相当を有期で支給します。

【新規】修学旅行等バス増車借り上げ支援事業　１１，９４９千円
新型コロナウイルス感染症対策のための借り上げバスの大型化、増車などかかる経費を助成します。

【新規】遠足バス増車借り上げ支援事業　３，０００千円
新型コロナウイルス感染症対策のための借り上げバスの大型化、増車などかかる経費を助成します。

【新規】営業継続負担金　４２，６２９千円
道の駅西山公園・神明苑・嚮陽会館・ラポーゼかわだの指定管理者に対し、コロナ禍においても、従業員の雇用を確保しながら営業継続し、施設を管理運営するための支援を行います。

（４）イベント（オンライン導入等）　　７事業　　計１，０３７万円

【継続・提案】若者による地域活性化推進事業　　６００千円

全国の大学生と地元高校生による若者目線でのアイディアを活かしたまちづくり提案を行う「地域活性化プランコンテスト」を開催します。地元の方への聞き取りや会議をする際に、オンラインを活用して、遠方に住む方でも参加できるようにします。

【継続・提案】鯖江市役所ＪＫ課プロジェクトサポート事業　　５４０千円

ＪＫ課自らの企画の具現化を行うＪＫ課プロジェクト事業をサポートするために開催するミーティングをオンラインにて行います。

【継続・提案】男女共同参画地域推進事業　　１，６５０千円

男女共同参画・ＳＤＧｓ推進を担う人材育成を目的とした「さんかく塾」、地域における男女共同参画推進を目的に地域と人とのつながりを持ち意見交換を行う「オンラインサロン」を開催します。

【継続・提案】男女共同参画啓発事業　　６２０千円

広報誌に男女共同参画等に関する情報や活動内容を掲載し啓発を行います。また、男女共同参画推進に関する朗読劇を製作、動画撮影し、ＹｏｕＴｕｂｅでの配信など啓発活動を行います。

【継続】地方創生ＳＤＧｓ登録・認証等制度加入促進事業　　１５０千円

地方創生ＳＤＧｓ登録・認証等制度加入に向けて、市内企業等を対象とした専門家による研修会を実施します。研修会にはオンライン開催も導入します。

【継続】鯖江つつじマラソン開催事業　　６，０５６千円

新型コロナウイルス対策による開催延期・実施種目見直し・感染予防対策の強化を行ったうえで、鯖江つつじマラソンを開催します。

【継続】東京２０２０オリンピックホストタウン事業　　７５０千円

東京２０２０オリンピック中国体操選手団の事前合宿が新型コロナウイルスの影響により開催できないなか、パブリックビューイングによる市民の応援やメール交換などで、東京２０２０オリンピックホストタウンとして交流を行います。

（５）ＩＣＴ環境整備　　１１事業　　計１億２，２６７万円

【新規】ＧＩＧＡスクール推進事業費（小学校）　６６，６４０千円
【新規】ＧＩＧＡスクール推進事業費（中学校）　３４，３６０千円
小中学校の全児童・生徒にタブレット端末を１人１台整備し、学校の臨時休業等の緊急時においても、ＩＣＴの活用によりすべての子どもたちの学びを保証できる環境を整備します。

【新規】公立保育所ＩＣＴ化推進事業　９，９３２千円
保育士等の業務負担軽減を図るため、保育に関する計画や、子どもの登降園管理等に係る業務のＩＣＴ化を推進します。

【新規】議会ＩＣＴ化推進事業　１，４６０千円
効率的で迅速な議会運営・議案審議・情報共有を行うとともに、コロナや自然災害などの有事に備えるために、議会のＩＣＴ化を推進します。

【継続】スマート自治体モデル構築事業　５９２千円
内部事務の効率化や行政手続きの電子化を推進するために、クラウドサービスを活用します。

【新規】ＳＮＳ機能を活用した庁内情報共有化事業　３，０００千円
庁内の情報共有ツールとしてＳＮＳ機能を有した仕組みを導入することで、庁外にいる職員との情報共有も可能となり、スピード感のある情報共有と意思決定が行えるようにします。

【新規】インターネットでの行政手続推進事業　７９２千円
様々な行政手続きをインターネットを通じてオンラインで市民が「いつでも」・「どこでも」申請手続きできるように整備します。

【継続】庁内ＬＡＮ整備費　３，６５２千円
庁内ＬＡＮ業務用サーバやＳＡＢＡＥｗｉｆｉネットワーク設備を強化し、業務効率化や市民の利便性を図ります。

【継続】ＡＩ－ＯＣＲ／ＲＰＡ等を活用した業務自動化事業　１，４５８千円
市業務の事務効率向上を目的とした、ＡＩ－ＯＣＲやＲＰＡによる業務自動化をします。

【継続】電子申請事業　５９４千円
福井県と市町が共同利用する電子申請・施設予約サービスを利用します。

【継続・提案】ＩＴのまち鯖江推進事業　１９０千円
ＩＴのまち鯖江推進フォーラムを開催します。

第２期鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略

「第２期鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、令和３年度で２年目を迎えます。引き続き「世界のめがねの聖地ＳＡＢＡＥ」の確立に向けて、「持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）の推進」のもと、「女性が活躍しやすいまちづくり」「強靭かつ環境にやさしいまちづくり」「Ｓｏｃｉｅｔｙ（ソサエティ）５．０の実現」の重点施策と、「魅力ある雇用の創出」「若者が住みたくなるまちの創造」「若くて元気なまちの創造」「安心で快適に暮らせるまちの創造」の４つの基本目標に基づいた予算配分を行いました。

重点施策　持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）の推進

≪主な事業≫

○ 女性が活躍しやすいまちづくり

ＳＤＧｓの推進には女性の活躍が不可欠であるため、女性が輝き、活躍し続けられるよう「居場所」と「出番」づくりを創出し、女性が生き生きと働きがいややりがいをもって社会貢献ができる環境づくりに取り組みます。

【拡充】ＳＤＧｓパートナーシップ事業　８，９４４千円

さばえＳＤＧｓ推進センターを中心に、企業、学校、市民団体等と連携し、ＳＤＧｓ達成のためのセミナー開催やアプリの導入など、様々な事業を実施します。また、地域おこし協力隊と連携し、国内外への情報発信を行います。

【統合】ワーク・ライフ・バランス推進事業　９７１千円

高校生を対象にワーク・ライフ・バランスの研修会を開催するとともに、参加した高校生が４コマ漫画等の記事を作成し、広報さばえに掲載することによって、市民啓発につなげます。また、新米ママ・パパのために、ワーク・ライフ・バランスのミニ講座と相談会を開催します。

【継続】女性活躍プラットフォーム創出事業　５００千円

女性活躍を推進している企業経営者の会を組織し、取組みの紹介や意見交換会、経営者向けの女性活躍セミナーなどを実施します。

【新規】子ども家庭総合支援拠点事業　７，４７５千円

子育て支援専門員が、１８歳までの児童とその家庭および妊産婦を対象に、子育てに対する不安や悩み、虐待以外の家庭内の問題に対して、電話や来所面接、訪問などを通じて、継続して支援します。

【拡充】子育て世代包括支援センター事業（基本型）　５，８７７千円

子ども子育て利用者支援事業・養育支援訪問事業を行う子育て支援員を配置し、訪問支援も含め、相談・助言を行います。

【新規】ふくいのグランパ・グランマ養成支援事業　３３０千円

地域の中で子育てのサポートを受けられる環境づくりのために、子育て支援を行うことができるボランティア（ふくいのグランパ・グランマ）を養成する講習会を開催し、地域の子どもは地域の中で育てていくという機運を醸成します。

【継続】鯖江市役所ＪＫ課プロジェクト事業　３０９千円

女子高校生がまちづくりの主役となって、自らが企画し、大人を巻き込みながら具現化するＪＫ課プロジェクトを実施します。

【継続】ＳＤＧｓ教育推進事業　４７千円

ＳＤＧｓの理念を中学生が理解するための講演会等を開催します。

○ 強靭かつ環境にやさしいまちづくり

公共インフラの長寿命化、防災・減災機能の強化を図るとともに、快適に暮らせるよう、環境にやさしい施策を推進するなど、全ての人が住みやすく安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。

【拡充】エシカルライフ推進事業　２７９千円

消費者や生産者が「地域や社会、地球環境、人々のことを考慮して作られたものやサービスを選んで消費する」という持続可能な社会に寄与しているという意識を持って生活できるよう、エシカル消費を推進します。

【新規】福井県総合防災訓練事業　２，０００千円

防災関係機関が協力して迅速・的確に応急対策が実施できるよう、立待地区と豊地区、吉川地区において福井県総合防災訓練を実施し、住民の防災に対する意識の醸成を図ります。

【継続】老朽危険空家等除却支援事業　６，０００千円

周辺に危害を及ぼす可能性のある空き家について老朽度の判定を行い、その結果に応じて、空家所有者に対して補助金を交付し、老朽化した空き家の除却を促進します。

【継続】さばえエコ農業支援対策事業　５，７１６千円

化学肥料、農薬等の削減により、生物多様性保全、地球温暖化防止などに効果の高い営農活動に取り組む農業者を支援します。

【継続】ごみ収集委託事業　２１６，７７５千円

可燃ごみ、不燃ごみ、資源物等の収集を市内業者に業務委託し、環境美化の保持を図ります。

【継続・提案】ＣＯＯＬ　ＣＨＯＩＣＥ普及啓発事業　１，５１２千円

環境イベントや講演会において、ＣＯＯＬ　ＣＨＯＩＣＥ（クールチョイス）やエシカル消費などの普及啓発に取り組みます。

【継続・拡大】道路除雪事業　３１１，０８０千円

「みんなでつくろう雪につよいまち」を合言葉に、市道除雪の実施や地域への除雪機械助成等を行い、除雪を円滑に進め市民の生活を守ります。また、市の所有する除雪機を増やし、市民の要望に適切に対応できるよう努めます。

【継続】地域再生道路整備事業　７０，９８０千円

交通環境の整備や降雪期の円滑な道路交通を図るため、老朽化の著しい幹線道路の改修を計画的に実施します。

【継続】社会資本整備総合交付金事業　２９３，７８０千円

交通ネットワークの整備、道路消雪の整備、土木施設の長寿命化、冠水箇所の解消等を図り、円滑で安全安心な道路網の整備を行います。

【継続】田んぼダム推進事業　１５，０００千円

水田が有する本来の貯水機能を有効活用し、降雨時に一時的に雨水を溜めることにより、浸水被害の軽減を図ります。

【新規】鯖江市公園施設長寿命化計画策定業務委託（スポーツ施設分）　１２，５００千円

平成２４年度に策定した鯖江市公園施設長寿命化計画の改定を行います。

○ Ｓｏｃｉｅｔｙ（ソサエティ）５．０の実現

新たな技術を活用して、既存の業務をオンライン化やデジタル化、自動化することにより、最大限に効率化させ、市の業務効率化や市民サービスの向上に取り組みます。

【新規】ＳＮＳ機能を活用した庁内情報共有化事業　３，０００千円

庁内の情報共有ツールとしてＳＮＳ機能を有した仕組みを導入します。これにより、庁外にいる職員との情報共有も可能となり、スピード感のある情報共有と意思決定が行えるようにします。

【新規】インターネットでの行政手続推進事業　７９２千円

様々な行政手続きをインターネットを通じてオンラインで市民が「いつでも」・「どこでも」申請手続きできるように整備します。

【新規】公務資料ペーパーレス化事業　１００千円

タブレット等を活用して、市長と副市長の会議出席等公務資料をペーパーレス化します。

【新規】公立保育所ＩＣＴ化推進事業　９，９３２千円

保育士等の業務負担軽減を図るため、保育に関する計画や、子どもの登降園管理等に係る業務のＩＣＴ化を推進します。

【新規】ＳＤＧｓに対応した地場産業ＤＸプラットフォーム事業　５，０００千円

本市の地場産業企業等を対象に今後の事業活動に欠かせない「環境対応」と「ＤＸ」への理解を促進し、セミナー開催等を行います。

【新規】さば割クーポン発行事業　６，０００千円

市内の小売、サービス業等で使用できるデジタル割引クーポンを発行し、ウィズコロナ時代に対応した販売促進を行い、消費喚起を図ります。

【継続】儲かるふくい型農業総合支援事業（スマート農業型）　２，３０１千円

ＩＣＴ機械の導入による経営の規模拡大を図るため、ＩＣＴの機械、施設等の整備に対して補助します。

【新規】ＧＩＧＡスクール推進事業費（小学校）　６６，６４０千円
【新規】ＧＩＧＡスクール推進事業費（中学校）　３４，３６０千円

小中学校の全児童・生徒にタブレット端末を１人１台整備し、学校の臨時休業等の緊急時においても、ＩＣＴの活用によりすべての子どもたちの学びを保証できる環境を整備します。

【継続】ＩＣＴ学習支援事業（小学校分）　１，３６７千円
【継続】ＩＣＴ学習支援事業（中学校分）　４６８千円

各小中学校に専門知識のある支援員を派遣し、タブレット端末やコンピュータを活用した授業のサポートや技術的支援を行います。

【新規】議会ＩＣＴ化推進事業　１，４６０千円

効率的で迅速な議会運営や議案審議、情報共有を行うとともに、コロナ禍や自然災害などの有事に備えるために、議会のＩＣＴ化を推進します。

基本目標Ⅰ　魅力ある雇用の創出

本市は、眼鏡・繊維・漆器の三大地場産業を中心としたものづくりのまちとして発展してきました。地場産業に蓄積された高度な技術を最大限に活用して、成長分野への進出や販路開拓、サテライトオフィスの積極的誘致など、地域産業の活性化の動きを加速させるとともに、ものづくりを支える女性の活躍にも焦点を当て、魅力ある雇用の場を創出します。

【拡充】ＳＤＧｓパートナーシップ事業　**８，９４４千円**

さばえＳＤＧｓ推進センターを中心に、企業、学校、市民団体等と連携し、ＳＤＧｓ達成のためのセミナー開催やアプリの導入など、様々な事業を実施します。また、地域おこし協力隊と連携し、国内外への情報発信を行います。

【統合】ワーク・ライフ・バランス推進事業　**９７１千円**

高校生を対象にワーク・ライフ・バランスの研修会を開催するとともに、参加した高校生が４コマ漫画等の記事を作成し、広報さばえに掲載することによって、市民啓発につなげます。また、新米ママ・パパのために、ワーク・ライフ・バランスのミニ講座と相談会を開催します。

【継続】女性活躍プラットフォーム創出事業　**５００千円**

女性活躍を推進している企業経営者の会を組織し、取組みの紹介や意見交換会、経営者向けの女性活躍セミナーなどを実施します。

【新規】ふれあいみんなの館・さばえ施設維持補修　**２５，１７０千円**

ふれあいみんなの館・さばえの非常放送設備と冷暖房機が経年故障したため、その機器更新を行います。

【新規】ＳＤＧｓに対応した地場産業ＤＸプラットフォーム事業　**５，０００千円**

本市の地場産業企業等を対象に、今後の事業活動に欠かせない「環境対応」と「ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）」への理解を促進し、セミナーの開催等を実施します。

【新規】海外で売れる商品の開発支援事業　**５，０００千円**

越前漆器の魅力の訴求方法を探るとともに、産地で女性チームを立ち上げ、専門家の監修の下、海外の生活様式や趣味嗜好に応じた商品を開発し、漆器の新たな市場開拓に取り組みます。

【継続】サテライトオフィス誘致事業　**１，７００千円**

市の魅力を発信することで、ＩＴ系企業のサテライトオフィスを誘致し、若者や女性に魅力的な雇用創出と空き家の利活用を目指します。

【新規】さばえものづくり補助金　**４４，７８０千円**

コロナ禍でも果敢に取り組む事業所の積極的な活動に対して、引き続き支援を行うため、販路開拓・人材育成・経営改善等の補助金を「経営力向上補助金」に一元化し、利便性を高めるとともに、コロナ禍の現状を踏まえ補助率を従来の１／２から３／４に引き上げます。また、経営改善を目的に、全国各地の高いスキルを有する人材を副業社員として起用する事業所への補助金、および男性の育児休業取得促進を目的とした事業所向けの助成金を新設します。加えて、眼鏡の産直ショップ開設補助金の対象に漆器、繊維を加え、さらなる産業観光の推進を目指します。

【継続】工場立地助成金　　１３５，０１１千円

市内で工場等の新設や増設を行った企業に対して助成することにより、企業等の誘致を進め、地域の産業発展を目指します。

【新規】さばえの産業ＰＲ事業　　３，０００千円

鯖江商工会議所と連携し、コロナ禍におけるデジタルを活用したニューノーマルな販促手法の確立支援に取り組みます。

【継続】農の人財育成支援事業　　３，４００千円

新型コロナウイルス感染症の広がりを契機に、地元で働きたい若者の農への回帰と定住を促進するとともに、農業従事者の減少と高齢化に伴い新たな担い手として自立できる農業者の新規参入を促進します。

【新規】農業法人次世代育成支援事業　　１，５００千円

新型コロナウイルス感染症が収束しない中、農業従事者の減少と高齢化が進んでいることから、地元で働きたい若者の農への回帰と定住を促進するため、新たな担い手を受け入れる農業法人を支援します。

【継続】さばえエコ農業支援対策事業　　５，７１６千円

化学肥料、農薬等の削減により、生物多様性保全、地球温暖化防止などに効果の高い営農活動に取り組む農業者を支援します。

【継続】鳥獣害対策ツーリズム事業　　１８５千円

山際で鳥獣害対策に取り組む集落が外部団体を受け入れて緩衝帯整備を行うなど、集落住民だけでは取り組みにくい活動を行います。

【継続】儲かるふくい型農業総合支援事業（スマート農業型）　　２，３０１千円

ＩＣＴ機械の導入による経営の規模拡大を図るため、ＩＣＴの機械、施設等の整備に対して補助します。

基本目標Ⅱ　若者が住みたくなるまちの創造

本市は、若者や女性を市政のパートナーとして、柔軟で豊かな発想や想像力を市政に生かしてきました。鯖江のものづくりの魅力と可能性に惹かれて移住・定住した若者たちのチャレンジを応援するとともに、鯖江で生まれ育った子どもたちがふるさとに愛着と誇りを感じる教育を推進し、すべての市民が主体的にまちづくりに参加できる「市民主役」「市民協働」の取り組みを加速させます。

【拡充】市民協働まちづくり基金事業補助金　　３，０００千円

市民からの寄付金（ふるさと納税を含む。）を積み立てた「まちづくり基金」を活用し、市民団体が自主・自発的に行うまちづくり活動を促すとともに、「未来のさばえ」を創る事業を提案・実践してもらうため、補助金を交付します。

【継続・提案】市民まちづくり応援団養成講座事業　　１９２千円

まちづくりに意欲のある人材を発掘・育成し、相互に協力しあえる環境づくりをするため、市民まちづくり応援団養成講座を開催します。

【新規】移住者きばり暮らし推進事業　　１２０千円

移住者と市職員が取り組む「まちづくり」事業をブラッシュアップするとともに、移住者と地域住民と職員が、鯖江の「まち」の魅力や課題について語り合い、共に考え、共に刺激を与え合う場を創出します。

【継続】移住就職支援事業　　３，２００千円

東京圏への過度な一極集中の是正および地域の中小企業等における人手不足の解消、本市への移住を促進するため、移住者に対し移住に係る初期費用の支援を行い、移住者の経済負担を軽減します。

【新規】みんなでつくる「さ映え市勢要覧」　　２５０千円

主に市外の人に、本市の魅力やまちづくりを紹介する「市勢要覧」に掲載する写真をフォトコンテストで募集し活用します。

【新規】「３８（サバ）」エール　　０円

「めがねのまちさばえ」の魅力を動画や市公式ＳＮＳにより発信し、市民および県内外の人たちに元気（エール）を送ります。

【新規】めがねのまちさばえ新春交流会　　６００千円

お茶席や演奏会を中心とし、市民、各種業界・団体等の誰もが参加することができ、新年のあいさつ等ができるような交流会を開催します。

【継続】大人ファースト鯖江めがね　　５，５００千円

新成人全員に鯖江産眼鏡を贈呈し、着用してもらったりその姿をＳＮＳへ投稿したりすることにより、「めがねのまちさばえ」の魅力を発信するとともに、ふるさと鯖江への誇りと愛着の思いを高めてもらいます。

【拡充】ふるさと納税推進事業　１５２，０００千円
本市が持つ魅力や主要な事業等を全国に向けて積極的にＰＲするとともに、市内企業の商品を寄附のお礼品とすることにより、本市と市内企業の魅力発信と自主財源の確保に努めます。

【継続】地域おこし協力隊による地域活性化推進事業　７，９６０千円
高齢化や人口減少の著しい地域において、地域外の人材（地域おこし協力隊）を活用し、地域の活性化に必要な施策を推進するとともに、当該地域への定住や定着を促進します。

【継続】鯖江”育職住”プロジェクト事業　２，３９７千円
本市のものづくり企業の魅力や生活環境の良さなどを伝えるウェブサイト「さばえの仕事図鑑」の情報拡充を図ることにより、地元企業への就業と域外からの移住を促進します。

【継続】越前ものづくりの里プロジェクト事業　１８，９５７千円
丹南地域の伝統工芸の各産地が連携して、職人の育成や産地の魅力向上に取り組むことにより、産地の知名度向上と需要拡大を図ります。

【新規】ライブ映像による観光情報発信事業　１９８千円
可搬式カメラによる西山公園などのライブ映像を観光情報サイトで配信し、最新情報をリアルタイムで届けることにより、観光地への誘客につなげます。

【継続・提案】若者による地域活性化推進事業　６００千円
全国の大学生と地元高校生による若者目線でのアイディアを活かしたまちづくり提案を行う「地域活性化プランコンテスト」を開催し、具現化を検討することで地域活性化につなげます。

【継続】鯖江市役所ＪＫ課プロジェクト事業　３０９千円
女子高校生がまちづくりの主役となって、自らが企画し、大人を巻き込みながら具現化するＪＫ課プロジェクトを実施します。

【継続・提案】鯖江市役所ＪＫ課プロジェクトサポート事業　５４０千円
民間の視点で、ＪＫ課自らの企画の具現化を行うＪＫ課プロジェクト事業をサポートします。

【継続】丹南地域周遊・滞在型観光推進事業　３，５２６千円
「丹南地域周遊・滞在型観光推進計画」に基づき、エリア内の５市町が連携して観光誘客事業を実施し、事業費の一部を負担します。

【統合】ふるさと教育推進事業（小学校分）　１，４４０千円
【統合】ふるさと教育推進事業（中学校分）　４８０千円
各小中学校に講師を招き、鯖江の自然・文化・伝統・産業を学ぶことを通じて、ふるさと鯖江の発展を志向できる児童・生徒を育てます。

【継続】産業を体験し理解を深める学習事業　７００千円
小学校児童が本市の地場産業について理解を深めるため、眼鏡・繊維・漆器の製作体験を行います。

基本目標Ⅲ　若くて元気なまちの創造

本市は、近年まで人口増加傾向にあるものの、将来的には人口、特に若い女性の数が減少する見込みであるため、子育て家庭の経済的な負担や不安感を軽減し、安心して子どもを産み育てることのできる環境づくりに取り組みます。また、心身ともにバランスの取れた健全な子どもの育成や、高齢者が生涯健康で生きがいを持って暮らす環境づくりをし、子どもから高齢者まで全ての市民が笑顔のあふれるまちを創造します。

○新子育て支援センター関係事業　　３０，７６８千円

子ども達が楽しく遊び、お母さん同士が交流でき、子育てに関するあらゆる相談・支援および育成に対応できる、そして、多世代にわたり多くの皆様に利用いただける新たな子育ての拠点施設として、新子育て支援センター（旧・早稲田保育所）を整備しました。

≪主な事業≫

【新規】子ども家庭総合支援拠点事業　　７，４７５千円

子育て支援専門員が、１８歳までの児童とその家庭および妊産婦を対象に、子育てに対する不安や悩み、虐待以外の家庭内の問題に対して、電話や来所面接、訪問などを通じて、継続して支援します。

【拡充】子育て世代包括支援センター事業（基本型）　　５，８７７千円

子ども子育て利用者支援事業・養育支援訪問事業を行う子育て支援員を配置し、訪問支援も含め、相談・助言を行います。

【新規】幼児発達支援事業　　３，５７７千円

発達上問題となる児童に対して、個々の発達に応じた支援を実施するとともに、保護者に対して、少しでも早い時期から子どもの発達特性に応じた適切な環境や接し方の工夫について、助言し支援します。

【新規】ふくいのグランパ・グランマ養成支援事業　　３３０千円

地域の中で子育てのサポートを受けられる環境づくりのために、子育て支援を行うことができるボランティア（ふくいのグランパ・グランマ）を養成する講習会を開催し、地域の子どもは地域の中で育てていくという機運を醸成します。

【新規】発達障害児等家族支援事業　　３３３千円

発達障害児等やその家族を対象に、相談や情報の提供、研修会の開催など、家族が互いに支え合うための活動支援を行います。

【継続】子育て支援センター一時預かり事業　　１，２６０千円

子育て家庭のニーズに応じたきめ細やかな支援をするため、児童の一時預かりを行います。

【新規】保育士さんウェルカム事業　　１，１２５千円
　市内私立保育所へ就職した保育士に対して、市特産品などの「就職お祝い品」を贈り、保育士としての門出を祝います。

【新規】保育士さんありがとう事業　　６００千円
　市内保育所で就労５年目、１０年目の保育士に対して、市特産品などの「お礼の品」を贈り、感謝の意を表することで、職に対する意識の高揚を図り、保育士等の安定確保につなげます。

【新規】若手保育士給与改善事業　　３，６００千円
　市内私立保育所に勤務して５年未満の若手職員に対して、毎月給与改善手当を支給し、賃金体系の改善を通じて、「長く働くことができる」職場環境を構築します。

【新規】遠足バス増車借り上げ支援事業（保育所等分）　　２，８００千円
【新規】遠足バス増車借り上げ支援事業（幼稚園分）　　２００千円
　新型コロナウイルス感染症対策のための借り上げバスの大型化、増車などかかる経費を助成します。
【新規】保育所給食費補助事業　　２１，６００千円
【新規】幼稚園給食費補助事業　　２，０００千円
　保育所等の園児の給食費の半額相当（月額２，２５０円）を補助し、保護者の負担軽減を図ることにより、子育て世帯を支援します。

【統合】妊娠・出産包括支援事業（子育て世代包括支援センター）　　８，８５３千円
　母子保健コーディネーターを配置し、関係機関等と連携しながら、妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談および支援を行います。

【新規】医療行為によって免疫を失った場合の再接種の助成事業　　２４６千円
　がん治療等の理由により、既接種の定期予防接種効果が期待できないことから、任意で予防接種を再接種する者の経済的負担の軽減を図るとともに、疾病の発生およびまん延を予防するため、予防接種に要する費用を助成します。

【新規】健康福祉センター施設整備事業（空調改修）　　９２，５００千円
【新規】健康福祉センター施設整備事業（非常用放送設備改修）　　１，７００千円
　健康福祉センターの老朽化した空調設備と非常用放送設備を改修します。

【拡充】住宅リフォーム支援事業　　４，８００千円
　子育て・新婚世帯や移住者の住環境の向上と、空き家の有効活用、多世帯近居・同居の支援を行い、安全安心で子育てがしやすい環境づくりを実現するために、住宅購入・リフォーム費用の一部を助成します。

【新規】修学旅行等バス増車借り上げ支援事業　　１１，９４９千円
　新型コロナウイルス感染症対策のための借り上げバスの大型化、増車などかかる経費を助成します。

【新規】小中学校給食費補助事業　　１１３，１６２千円
　小中学校の児童生徒の給食費の半額相当（月額２，５００円）を補助し、保護者の負担軽減を図ることにより、子育て世帯を支援します。

【拡充】特色ある学校づくり事業（小学校分）　　６，０００千円
【拡充】特色ある学校づくり事業（中学校分）　　３，０００千円
　各小中学校が「学校経営ビジョン」に沿って、創意工夫をこらしながら特色ある学校づくりを進めます。

【新規】東京２０２０オリンピックホストタウン事業　７５０千円
　パブリックビューイングによる市民の応援やメール交換などで、東京２０２０オリンピックホストタウンとして中国体操選手団との交流を行います。

【新規】北信越ジュニア体操選手権大会開催補助金　１，０００千円
　本市で開催される北信越ジュニア体操選手権大会（新体操・体操）開催費を支援します。

【新規】北信越高等学校体育大会開催補助金　７００千円
　本市で開催される北信越高等学校体育大会（新体操・体操、駅伝）開催費を支援します。

【新規】文化の館施設整備　３５，０００千円
　文化の館における屋上の防水およびトイレの洋式化を行い、利用者に安全安心な環境を提供します。

【新規】企画展開催事業　４，５００千円
　まなべの館において、「(仮)鯖江を駆け抜けた鉄道展」や「(仮)くらしのなかのデザイン」の親子で楽しめる企画展を開催します。

(介護保険事業特別会計（保険事業勘定))
【新規】介護保険人材確保・充実奨励金事業　２，９００千円
　若者の介護保険業界への就職や定着、無資格者の資格取得、言語聴覚士の配置に対して奨励金を給付し、市内の介護保険事業所の人材確保と充実を図ります。

基本目標Ⅳ　安心で快適に暮らせるまちの創造

各基本目標に掲げた施策の好循環を生み出すためには、市民にとって安全安心で暮らしやすく、住み続けたいと思える魅力的な居住空間・生活空間づくりが欠かせません。住民や訪れた方、誰もが楽しく快適に歩くことができるまちなかの形成、行政手続きのデジタル化による利便性向上、市民と協働で自然環境の保全や公共空間の美化を推進し、住みやすい良好な生活環境を整えます。

【新規】鯖江市貸切バス事業者車両維持支援事業　　１０，３００千円

市コミュニティバス運行の継続を図ることを目的に、受託事業者への支援として、所有する貸切バスの維持経費の一部を補助します。

【継続】コミュニティバス運行事業　　１０６，２００千円

鯖江市地域公共交通再編実施計画に基づき、１７路線８２便をノンステップバス８台で運行します。

【継続】自家用有償旅客運送実証事業補助金　　６，０００千円

高齢化率が高い河和田地区で、住民自らが有償ボランティアとしてマイカーを利用した移送を担う新しい交通システムの実証事業に対して補助します。

【新規】インターネットでの行政手続推進事業　　７９２千円

様々な行政手続きをインターネットを通じてオンラインで市民が「いつでも」・「どこでも」申請手続きできるように整備します。

【拡充】エシカルライフ推進事業　　２７９千円

消費者や生産者が「地域や社会、地球環境、人々のことを考慮して作られたものやサービスを選んで消費する」という持続可能な社会に寄与しているという意識を持って生活できるよう、エシカル消費を推進します。

【新規】福井県総合防災訓練事業　　２，０００千円

防災関係機関が協力して迅速・的確に応急対策が実施できるよう、立待地区と豊地区、吉川地区で福井県総合防災訓練を実施し、住民の防災に対する意識の醸成を図ります。

【継続】老朽危険空家等除却支援事業　　６，０００千円

周辺に危害を及ぼす可能性のある空き家について老朽度の判定を行い、その結果に応じて、空家所有者に対して補助金を交付し、老朽化した空き家の除却を促進します。

【継続】安全・安心防災基金積立金　　２，５００千円

自然災害による被害発生時に生じる避難所設置等の費用負担に備えるため、基金を設置し、積み立てを行います。

【新規】公務資料ペーパーレス化事業　　１００千円

タブレット等を活用して、市長と副市長の会議出席等公務資料をペーパーレス化します。

【新規】公立保育所ＩＣＴ化推進事業　　９，９３２千円

保育士等の業務負担軽減を図るため、保育に関する計画や、子どもの登降園管理等に係る業務のＩＣＴ化を推進します。

【新規】商店街等広域連携事業　３，６６０千円
鯖江商業協同組合の意向を踏まえ、外部専門家の意見を参考に市が事業計画を策定したうえで、計画に沿って商業協同組合が実施するポイントカードリニューアル事業を支援します。

【新規】さば割クーポン発行事業　６，０００千円
市内の小売、サービス業等で使用できるデジタル割引クーポンを発行し、ウィズコロナ時代に対応した販売促進を行い、消費喚起を図ります。

【継続】ごみ収集委託事業　２１６，７７５千円
可燃ごみ、不燃ごみ、資源物等の収集を市内業者に委託し、環境美化の保持を図ります。

【継続・提案】ＣＯＯＬ　ＣＨＯＩＣＥ普及啓発事業　１，５１２千円
環境イベントや講演会において、ＣＯＯＬ　ＣＨＯＩＣＥ（クールチョイス）やエシカル消費などの普及啓発に取り組みます。

【継続・拡大】道路除雪事業　３１１，０８０千円
「みんなでつくろう雪につよいまち」を合言葉に、市道除雪の実施や地域への除雪機械助成等を行い、除雪を円滑に進め市民の生活を守ります。

【継続】地域再生道路整備事業　７０，９８０千円
交通環境の整備や降雪期の円滑な道路交通を図るため、老朽化の著しい幹線道路の改修を計画的に実施します。

【継続】社会資本整備総合交付金事業　２９３，７８０千円
交通ネットワークの整備、道路消雪の整備、土木施設の長寿命化、冠水箇所の解消等を図り、円滑で安全安心な道路網の整備を行います。

【継続】急傾斜地崩壊対策事業　３５，０００千円
急傾斜地崩壊危険区域内において、県が実施する以外の崩壊防止対策工事を実施します。

【継続】田んぼダム推進事業　１５，０００千円
水田が有する本来の貯水機能を有効活用し、降雨時に一時的に雨水を溜めることにより、浸水被害の軽減を図ります。

【新規】ＧＩＧＡスクール推進事業費（小学校）　６６，６４０千円
【新規】ＧＩＧＡスクール推進事業費（中学校）　３４，３６０千円
小中学校の全児童・生徒にタブレット端末を１人１台整備し、学校の臨時休業等の緊急時においても、ＩＣＴの活用によりすべての子どもたちの学びを保証できる環境を整備します。

【継続】ＩＣＴ学習支援事業（小学校分）　１，３６７千円
【継続】ＩＣＴ学習支援事業（中学校分）　４６８千円
各小中学校に専門知識のある支援員を派遣し、タブレット端末やコンピュータを活用した授業のサポートや技術的支援を行います。

【新規】鯖江市公園施設長寿命化計画策定業務委託（スポーツ施設分）　１２，５００千円
平成２４年度に策定した鯖江市公園施設長寿命化計画の改定を行います。

【新規】議会ＩＣＴ化推進事業　１，４６０千円
効率的で迅速な議会運営や議案審議、情報共有を行うとともに、コロナ禍や自然災害などの有事に備えるために、議会のＩＣＴ化を推進します。

5　歳入のポイント

○市税収入　　８３億５，３００万円　（１０億８，５００万円減、△１１．５％）

新型コロナの影響による景気後退に伴う個人・法人市民税の減少と減収された個人事業主・法人に対する減免制度に伴う固定資産税の減少を考慮し、対前年度当初予算比１０億８,５００万円減の８３億５,３００万円を見込みました。

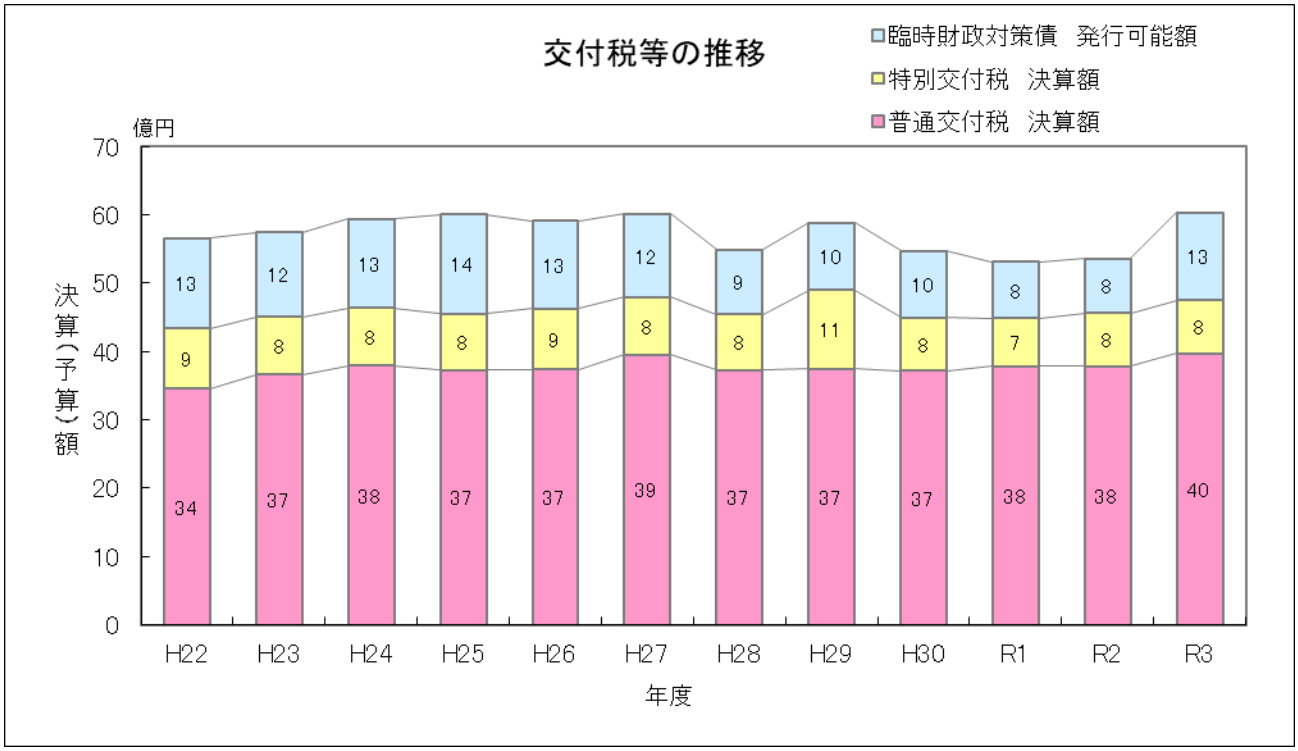
○地方交付税　　４７億５，０００万円　（１億９千万円増、４．２％）

・普通交付税　　３９億７,０００万円

＊令和２年度決算見込みおよび令和３年度地方財政計画を考慮し、３９億７,０００万円（対前年度当初予算比１億９千万円増）を見込みました。

・特別交付税　　７億８,０００万円　＊前年度同額を見込みました

＊臨時財政対策債（１２億８千万円）を加えた実質的な交付税は６０億３，０００万円（対前年度当初予算比６億７千万円増）となりました。



＊令和２年度および令和３年度は当初予算計上額

○市　債　　２４億７，０８０万円　（２億６，６５０万円減、△９．７％）

市債の当初予算計上額の比較　　（単位：千円、％）

区　　分	令和３年度	令和２年度	増減額	伸率
市　　債	2, 470, 800	2, 737, 300	△266, 500	△9. 7
普通建設事業債	1, 190, 800	1, 937, 300	△746, 500	△38. 5
臨時財政対策債	1, 280, 000	800, 000	480, 000	60. 0

6　令和３年度　鯖江市一般会計当初予算の状況

一般会計歳入の状況

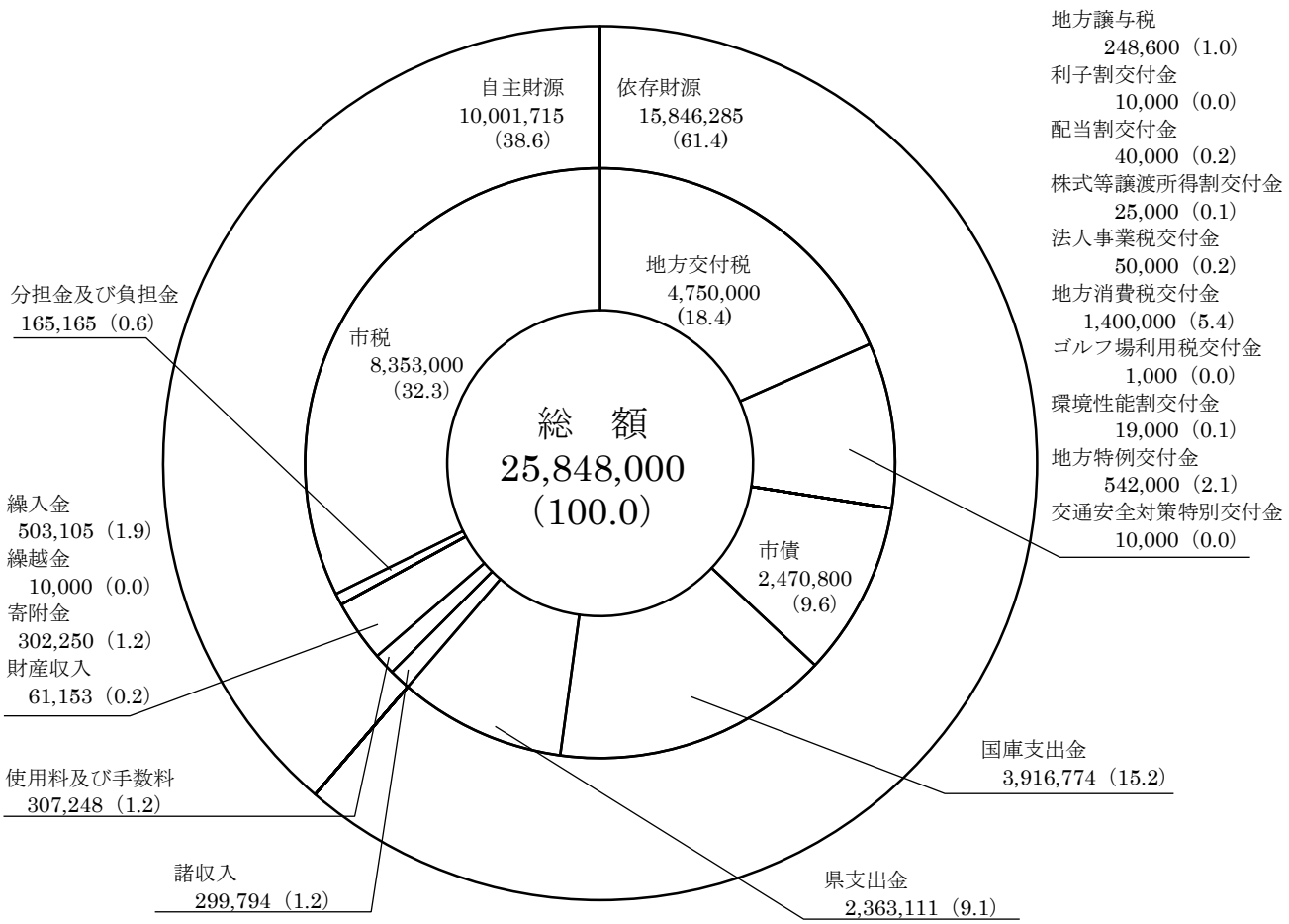
（１）歳入の内訳

（単位：千円・％）

区　　分	令和３年度		令和２年度		増減額	増減率
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比		
市税	8,353,000	32.3	9,438,000	35.2	△1,085,000	△11.5
地方譲与税	248,600	1.0	251,600	0.9	△3,000	△1.2
利子割交付金	10,000	0.0	8,000	0.0	2,000	25.0
配当割交付金	40,000	0.2	40,000	0.2	0	0.0
株式等譲渡所得割交付金	25,000	0.1	25,000	0.1	0	0.0
法人事業税交付金	50,000	0.2	30,000	0.1	20,000	66.7
地方消費税交付金	1,400,000	5.4	1,420,000	5.3	△20,000	△1.4
ゴルフ場利用税交付金	1,000	0.0	1,000	0.0	0	0.0
環境性能割交付金	19,000	0.1	25,000	0.1	△6,000	△24.0
地方特例交付金	542,000	2.1	25,000	0.1	517,000	2,068.0
地方交付税	4,750,000	18.4	4,560,000	17.0	190,000	4.2
交通安全対策特別交付金	10,000	0.0	10,000	0.0	0	0.0
分担金及び負担金	165,165	0.6	171,222	0.7	△6,057	△3.5
使用料及び手数料	307,248	1.2	356,824	1.3	△49,576	△13.9
国庫支出金	3,916,774	15.2	3,708,970	13.8	207,804	5.6
県支出金	2,363,111	9.1	2,278,003	8.5	85,108	3.7
財産収入	61,153	0.2	59,548	0.2	1,605	2.7
寄附金	302,250	1.2	253,000	1.0	49,250	19.5
繰入金	503,105	1.9	541,680	2.0	△38,575	△7.1
繰越金	10,000	0.0	10,000	0.0	0	0.0
諸収入	299,794	1.2	889,853	3.3	△590,059	△66.3
市債	2,470,800	9.6	2,737,300	10.2	△266,500	△9.7
合計	25,848,000	100.0	26,840,000	100.0	△992,000	△3.7

（２） 歳入予算款別構成表（一般会計）

（単位：千円・％）



（３）歳入の概要

自主財源は、市税、諸収入の大幅な減により、前年度当初予算と比較して１７億１，８４１万円、１４．７％の減となり、自主財源が歳入に占める割合は３８．６％となりました。

※自主財源：市税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入で、市が自主的に徴収できる財源をいいます。

（単位：千円・％）

区分	令和３年度（A）		令和２年度（B）		比較 (A)－(B)	伸率
	当初予算額	全歳入構成比	当初予算額	全歳入構成比		
1　市　税	8,353,000	32.3	9,438,000	35.2	△1,085,000	△11.5
2　繰入金	503,105	1.9	541,680	2.0	△38,575	△7.1
3　諸収入	299,794	1.2	889,853	3.3	△590,059	△66.3
4　その他	845,816	3.2	850,594	3.2	△4,778	△0.6
自主財源計	10,001,715	38.6	11,720,127	43.7	△1,718,412	△14.7

（４）市　税

新型コロナの影響により、個人・法人市民税ともに減少を見込み前年度当初予算と比較して個人市民税は５．２％の減、法人市民税は３７．８％の減で計上しました。

固定資産税については、減収された個人事業主・法人に対する減免制度に伴い、１４．３％の減で計上しました。

（単位：千円・％）

区分		令和３年度	令和２年度	増減額	増減率
個人市民税	現年課税分	3,334,000	3,520,000	△186,000	△5.3
	滞納繰越分	47,000	46,000	10,000	2.2
	計	3,381,000	3,566,000	△185,000	△5.2
法人市民税	現年課税分	440,000	715,000	△275,000	△38.5
	滞納繰越分	5,000	1,000	4,000	400.0
	計	445,000	716,000	△271,000	△37.8
固定資産税	土地(現年課税分)	1,262,000	1,289,000	△27,000	△2.1
	家屋(現年課税分)	1,604,000	1,950,000	△346,000	△17.7
	償却資産(現年課税分)	398,000	615,000	△217,000	△35.3
	その他(現年課税分)	9,000	9,000	0	0.0
	現年課税分小計	3,273,000	3,863,000	△590,000	△15.3
	滞納繰越分	110,000	86,000	24,000	27.9
	計	3,383,000	3,949,000	△566,000	△14.3
軽自動車税、市たばこ税、入湯税、都市計画税		1,144,000	1,207,000	△63,000	△5.2
合計		8,353,000	9,438,000	△1,085,000	△11.5

（５）地方交付税

普通交付税は前年度と比較して１億９，０００万円の増、特別交付税は前年度同額で見込みました。

（単位：千円・％）

区分	令和３年度	令和２年度	増減額	増減率
普通交付税	３，９７０，０００	３，７８０，０００	１９０，０００	５．０
特別交付税	７８０，０００	７８０，０００	０	０．０
合計	４，７５０，０００	４，５６０，０００	１９０，０００	４．２

（６）国庫支出金

国庫支出金は、新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金の増等により、前年度当初予算と比較して５．６％の増で計上しました。

（単位：千円・％）

令和３年度	令和２年度	増減額	増減率
３，９１６，７７４	３，７０８，９７０	２０７，８０４	５．６

【主な増減内訳】

・新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金　0千円→258,000千円（　258,000千円）
・文化財保存整備事業費補助金　30,776千円→119,460千円（　88,684千円）
・子どものための教育・保育給付交付金　759,426千円→846,044千円（　86,618千円）
・社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）　124,800千円→　300千円（△124,500千円）
・社会資本整備総合交付金　345,670千円→210,753千円（△134,917千円）

（７）県支出金

県支出金は、衆議院議員総選挙・最高裁国民審査委託金、水田園芸産地育成促進事業費補助金の増等により、前年度当初予算と比較して３．７％の増で計上しました。

（単位：千円・％）

令和３年度	令和２年度	増減額	増減率
２，３６３，１１１	２，２７８，００３	８５，１０８	３．７

【主な増減内訳】

・衆議院議員総選挙・最高裁国民審査委託金　0千円→ 24,000千円（　24,000千円）
・水田園芸産地育成促進事業費補助金　9,601千円→ 31,010千円（　21,409千円）
・子どものための教育・保育給付費交付金　345,271千円→365,467千円（　20,196千円）
・集落基盤整備事業費補助金　105,000千円→ 70,000千円（△ 35,000千円）
・国勢調査委託金　22,253千円→　0千円（△ 22,253千円）

（８）繰入金

繰入金は、減債基金繰入金の減により、前年度当初予算と比較して７．１％の減で計上しました。

（単位：千円・％）

令和３年度	令和２年度	増減額	増減率
５０３，１０５	５４１，６８０	△３８，５７５	△７．１

【主な増減内訳】

・財政調整基金繰入金　240,000千円→　300,000千円（　60,000千円）
・減債基金繰入金　300,000千円→　200,000千円（△100,000千円）

（９）市　債

普通建設事業債は、平成２８年度発行の元気さばえっ子・ゆめみらい債の借換債分２億円も含み１１億９，０８０万円を計上しました。臨時財政対策債は１２億８，０００万円を計上しました。

（単位：千円・％）

令和３年度	令和２年度	増減額	増減率
２，４７０，８００	２，７３７，３００	△２６６，５００	△９．７

・普通建設事業債　1,937,300千円→ 1,190,800千円（△746,500千円）
・臨時財政対策債　800,000千円→ 1,280,000千円（　480,000千円）

一般会計歳出（目的別）の状況

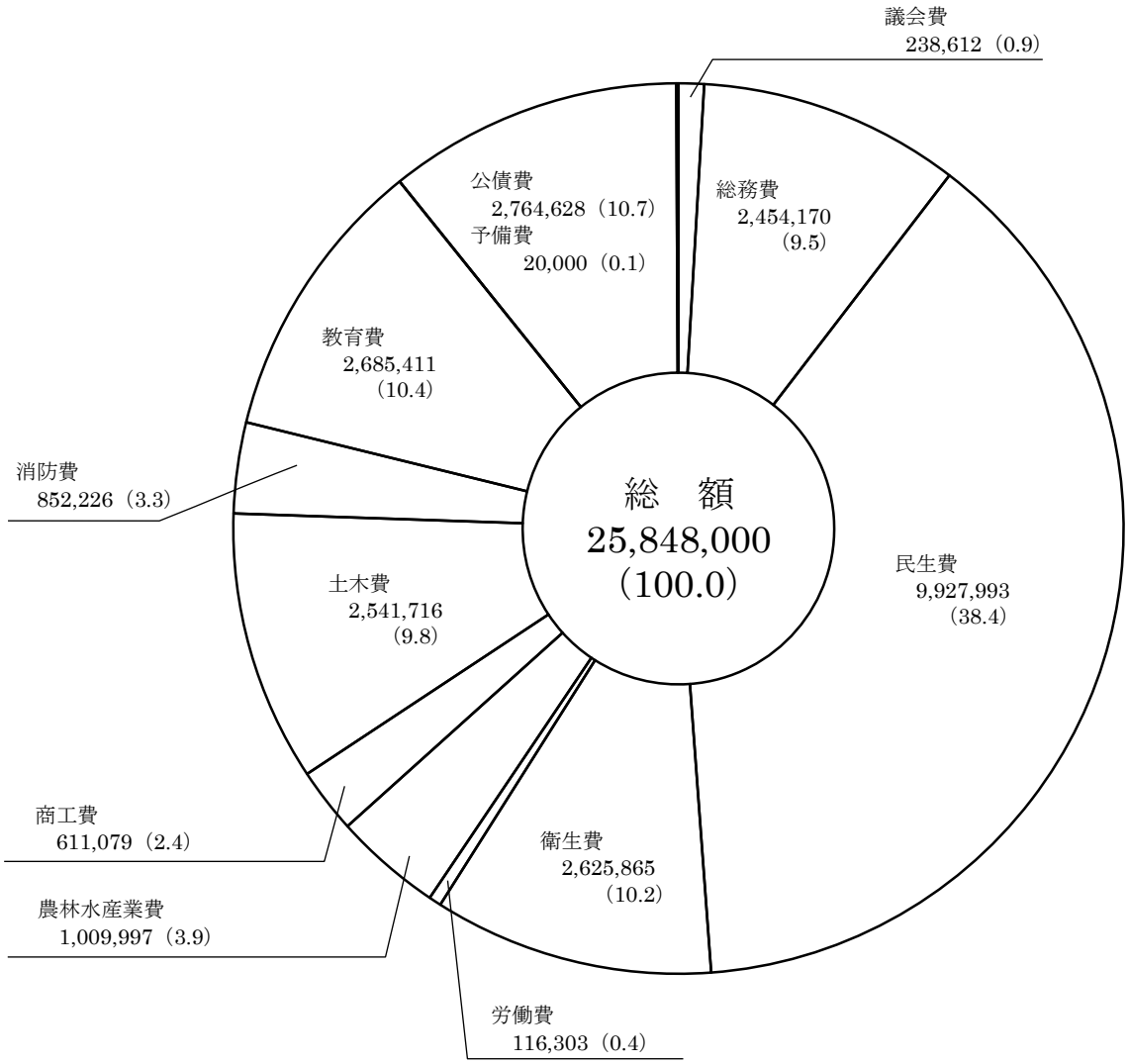
（1） 目的別内訳

（単位：千円・%）

区　　分	令和３年度		令和２年度		増減額	増減率
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比		
議　会　費	238,612	0.9	248,870	0.9	△10,258	△4.1
総　務　費	2,454,170	9.5	2,616,454	9.7	△162,284	△6.2
民　生　費	9,927,993	38.4	9,613,136	35.8	314,857	3.3
衛　生　費	2,625,865	10.2	2,349,728	8.8	276,137	11.8
労　働　費	116,303	0.4	89,275	0.3	27,028	30.3
農林水産業費	1,009,997	3.9	1,168,491	4.4	△158,494	△13.6
商　工　費	611,079	2.4	1,046,319	3.9	△435,240	△41.6
土　木　費	2,541,716	9.8	2,556,636	9.5	△14,920	△0.6
消　防　費	852,226	3.3	852,208	3.2	18	0.0
教　育　費	2,685,411	10.4	3,310,924	12.3	△625,513	△18.9
公　債　費	2,764,628	10.7	2,967,959	11.1	△203,331	△6.9
予　備　費	20,000	0.1	20,000	0.1	0	0.0
合　　計	25,848,000	100.0	26,840,000	100.0	△992,000	△3.7

（２）歳出予算目的別構成表（一般会計）

（単位：千円・％）



（３）目的別の概要

一般会計の歳出の内訳を目的別にみると、施設生活支援事業費や生活保護扶助費の増により民生費が、新型コロナウイルスワクチン接種対策費の皆増により衛生費がそれぞれ増加しました。

一方、文化の館施設整備費や公民館施設整備費の減により教育費が、中小企業資金等預託金の皆減により商工費がそれぞれ減少しました。

（４）目的別の状況

① 議会費

・議員報酬	167,662 千円→	157,210 千円	（△ 10,452 千円）

② 総務費

・ふるさと納税推進事業費	128,300 千円→	152,000 千円	（ 23,700 千円）
・退職手当費	236,728 千円→	201,730 千円	（△ 34,998 千円）
・防災施設整備費（単独）	40,585 千円→	0 千円	（△ 40,585 千円）
・持続可能な地域推進事業費	55,263 千円→	11,364 千円	（△ 43,899 千円）

③ 民生費

・施設生活支援事業費	1,235,000 千円→	1,310,000 千円	（ 75,000 千円）
・生活保護扶助費	215,000 千円→	274,500 千円	（ 59,500 千円）
・児童デイサービス等事業費	126,000 千円→	181,600 千円	（ 55,600 千円）
・私立保育所運営事業費	1,806,000 千円→	1,843,331 千円	（ 37,331 千円）
・介護保険事業特別会計介護給付費繰出金	695,810 千円→	666,090 千円	（△ 29,720 千円）

④ 衛生費

・新型コロナウイルスワクチン接種対策費	0 千円→	258,000 千円	（ 258,000 千円）
・健康福祉センター施設整備費	7,700 千円→	94,200 千円	（ 86,500 千円）
・国民健康保険事業特別会計保険基盤安定繰出金	289,348 千円→	301,083 千円	（ 11,735 千円）
・合併処理浄化槽設置費補助金	19,119 千円→	8,224 千円	（△ 10,895 千円）
・広域衛生施設組合負担金	631,923 千円→	596,577 千円	（△ 35,346 千円）

⑤ 労働費

・ふれあいみんなの館・さばえ施設維持補修費	300 千円→	25,170 千円	（ 24,870 千円）

⑥ 農林水産業費

・水田農業促進事業費	12,656 千円→	34,810 千円	（ 22,154 千円）
・地域再生林道整備事業費	12,345 千円→	0 千円	（△ 12,345 千円）
・農業集落排水事業会計補助金	143,400 千円→	113,000 千円	（△ 30,400 千円）
・土地改良事業費（県補助）	183,338 千円→	137,000 千円	（△ 46,338 千円）
・農林業体験実習館等施設整備費	68,400 千円→	0 千円	（△ 68,400 千円）

⑦ 商工費

・工場立地助成金	71,915 千円→	135,011 千円	（ 63,096 千円）
・中小企業融資利子等補給事業費	17,500 千円→	58,000 千円	（ 40,500 千円）
・中小企業資金等預託金	495,737 千円→	0 千円	（△495,737 千円）

⑧ 土木費

・道路除雪費	219,690 千円→	311,080 千円	（ 91,390 千円）
・道路整備事業費（単独）	93,300 千円→	147,970 千円	（ 54,670 千円）
・地域再生道路整備事業費	182,000 千円→	70,980 千円	（△111,020 千円）
・社会資本整備総合交付金事業費	446,500 千円→	293,780 千円	（△152,720 千円）

⑨ 消防費

・消防組合負担金	846,831 千円→	846,767 千円	（△　　64 千円）

⑩ 教育費

・文化財保存整備事業費（補助）	61,552 千円→	238,921 千円	（　177,369 千円）
・新型コロナウイルス対策費（学校教育課）	0 千円→	125,111 千円	（　125,111 千円）
・小学校施設管理諸経費（学校教育課）	50,292 千円→	110,957 千円	（　60,665 千円）
・文化センター施設整備費	87,923 千円→	0 千円	（△ 87,923 千円）
・体育施設整備費（単独）	104,817 千円→	9,711 千円	（△ 95,106 千円）
・公民館施設整備費	216,505 千円→	0 千円	（△216,505 千円）
・都市再生整備計画事業費（文化センター）	258,000 千円→	0 千円	（△258,000 千円）
・文化の館施設整備費	349,349 千円→	35,000 千円	（△314,349 千円）

⑪ 公債費

・市債定時償還元金	2,832,943 千円→	2,648,505 千円	（△184,438 千円）
・市債定時償還利子	131,346 千円→	112,676 千円	（△ 18,670 千円）

一般会計歳出(性質別)の状況

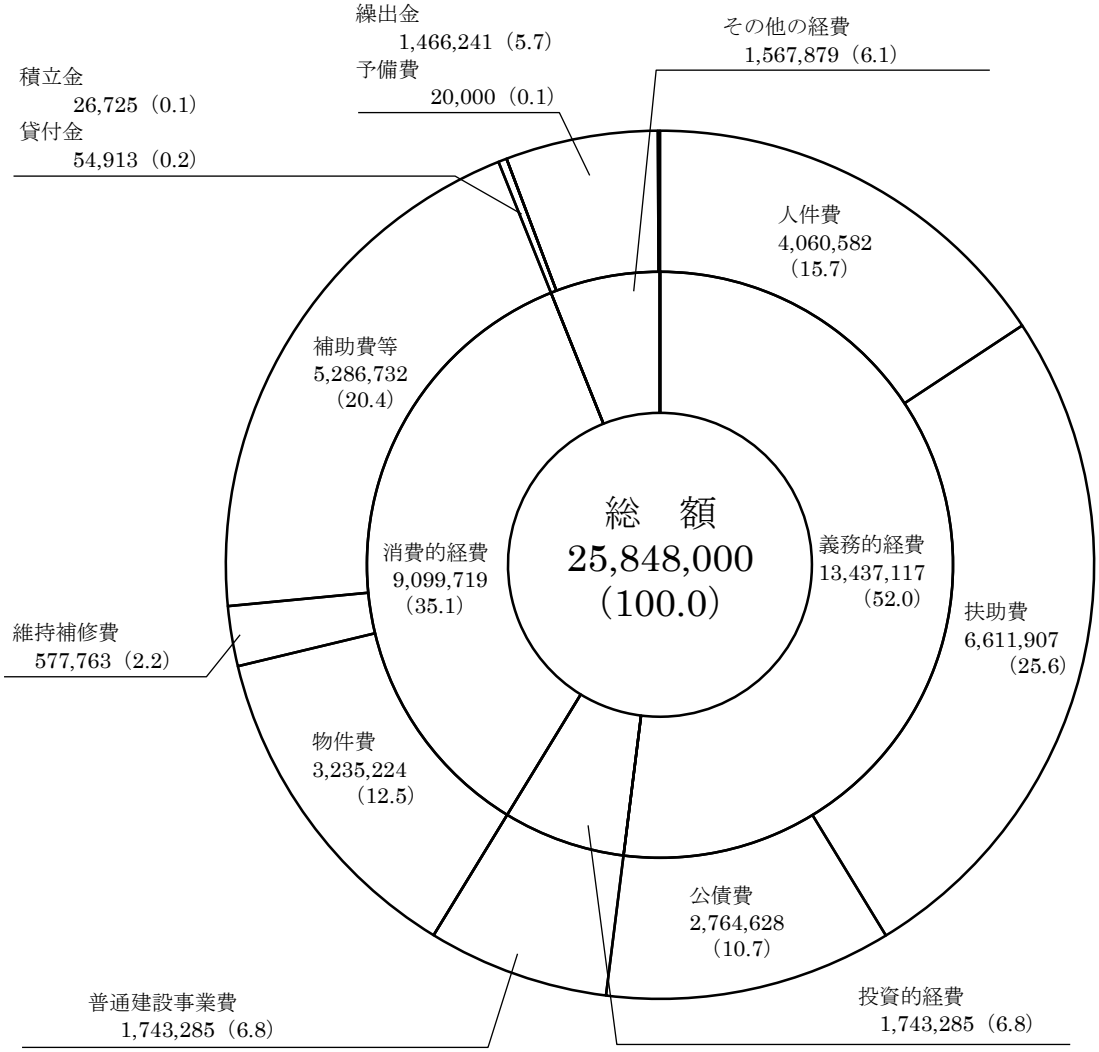
（1） 性質別内訳

（単位：千円・%）

区　分	令和３年度		令和２年度		増減額	増減率
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比		
人件費	4,060,582	15.7	4,077,604	15.2	△17,022	△0.4
物件費	3,235,224	12.5	2,915,735	10.9	319,489	11.0
維持補修費	577,763	2.2	484,607	1.8	93,156	19.2
扶助費	6,611,907	25.6	6,329,081	23.6	282,826	4.5
補助費等	5,286,732	20.4	5,144,480	19.2	142,252	2.8
うち一部事務組合負担金	2,668,064	10.3	2,702,453	10.1	△34,389	△1.3
公債費	2,764,628	10.7	2,967,959	11.0	△203,331	△6.9
普通建設事業費	1,743,285	6.8	2,853,426	10.6	△1,110,141	△38.9
補助事業	723,041	2.8	1,204,536	4.5	△481,495	△40.0
単独事業	759,431	2.9	1,376,624	5.1	△617,193	△44.8
県営事業負担金	169,410	0.7	180,863	0.7	△11,453	△6.3
国直轄事業負担金	91,403	0.4	91,403	0.3	0	0.0
積立金	26,725	0.1	26,880	0.1	△155	△0.6
貸付金	54,913	0.2	551,010	2.0	△496,097	△90.0
繰出金	1,466,241	5.7	1,469,218	5.5	△2,977	△0.2
予備費	20,000	0.1	20,000	0.1	0	0.0
合計	25,848,000	100.0	26,840,000	100.0	△992,000	△3.7

（２） 歳出予算性質別構成表（一般会計）

（単位：千円・％）



（３）性質別の概要

一般会計の歳出の内訳を性質別にみると、義務的経費では施設生活支援事業など扶助費の増等により、前年度当初予算と比較して６，２４７万円、０．５％の増となりました。

投資的経費は、文化の館施設整備費や公民館施設整備費の減等により、前年度と比較して１１億１，０１４万円、３８．９％の減となりました。

その他の経費は、新型コロナウイルスワクチン接種対策費の増等により、５，５６７万円、０．５％の増となりました。

（４）性質別の状況

（単位：千円・％）

区　分	令和３年度（A）		令和２年度（B）		比　較 (A)-(B)	伸　率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
１　人　件　費	4,060,582	15.7	4,077,604	15.2	△17,022	△0.4
２　扶　助　費	6,611,907	25.6	6,329,081	23.6	282,826	4.5
３　公　債　費	2,764,628	10.7	2,967,959	11.0	△203,331	△6.9
義務的経費計	13,437,117	52.0	13,374,644	49.8	62,473	0.5
投資的経費（普通建設事業費等）	1,743,285	6.8	2,853,426	10.6	△1,110,141	△38.9
その他の経費（物件費等）	10,667,598	41.2	10,611,930	39.6	55,668	0.5
合　計	25,848,000	100.0	26,840,000	100.0	△992,000	△3.7

① 人件費

【会計年度任用職員以外の職員等】（正規職員、特別職、議員等）　（単位：千円・％）

区　分	令和３年度	令和２年度	増減額	増減率
人件費（一般会計）	2,937,121	2,978,212	△41,091	△1.4
人件費（全会計）	3,202,877	3,247,523	△44,646	△1.4
うち退職手当（退職見込数）	200,697（10人）	236,544（11人）	△35,847	△15.2
退職手当を除いた人件費	3,002,180	3,010,979	△8,799	△0.3

【会計年度任用職員】

区　分	令和３年度	令和２年度	増減額	増減率
人件費（一般会計）	1,123,461	1,099,392	24,069	2.2
人件費（全会計）	1,161,929	1,139,137	22,792	2.0

〔職員数〕

区　分	正規職員（特別職を含む）			会計年度任用職員		
	令和３年度	令和２年度	増減数	令和３年度	令和２年度	増減数
一般会計	370人	370人	0人	511人	492人	19人
特別会計	24人	24人	0人	21人	20人	1人
企業会計	14人	15人	△1人	0人	0人	0人
合　計	408人	409人	△1人	532人	512人	20人

② 扶助費

社会福祉施設の利用件数の増加等による施設生活支援事業費の増や、生活保護者の医療扶助の増加に伴う生活保護扶助費の増により、対前年度比２億８，２８３万円、４．５％の増で計上しました。

（単位：千円・％）

令和３年度	令和２年度	増減額	増減率
６，６１１，９０７	６，３２９，０８１	２８２，８２６	４．５

③　公債費

元気さばえっ子・ゆめみらい債満期一括償還額の減等により、対前年度比２億３３３万円、６．９％の減で計上しました。

（単位：千円・％）

令和３年度	令和２年度	増減額	増減率
２，７６４，６２８	２，９６７，９５９	△２０３，３３１	△６．９

・市債定時償還元金　　2,832,943千円　→　2,648,505千円（△184,438千円）
・市債定時償還利子　　131,346千円　→　112,676千円（△ 18,670千円）

④　普通建設事業費

文化の館施設整備費、立待公民館大規模改修工事完了等により、対前年度比１１億１，０１４万円、３８．９％の減で計上しました。

（単位：千円・％）

令和３年度	令和２年度	増減額	増減率
１，７４３，２８５	２，８５３，４２６	△１，１１０，１４１	△３８．９

〔主な増減要因〕

【補助事業】　（単位：千円）

事　業　名	令和３年度	令和２年度	増減額
文化財保存整備事業費（補助）	２３８，９２１	６１，５５２	１７７，３６９
地域再生道路整備事業費	７０，９８０	１８２，０００	△１１１，０２０
社会資本整備総合交付金事業費	２９３，７８０	４４６，５００	△１５２，７２０
都市再生整備計画事業費（文化センター）	０	２５８，０００	△２５８，０００

【単独事業】　（単位：千円）

事　業　名	令和３年度	令和２年度	増減額
健康福祉センター施設整備費	９４，２００	７，７００	８６，５００
道路整備事業費（単独）	１４７，９７０	９３，３００	５４，６７０
公民館施設整備費	０	２１６，５０５	△２１６，５０５
文化の館施設整備費	３５，０００	３４９，３４９	△３１４，３４９

⑤　物件費

新型コロナウイルスワクチン接種対策および小中学校のＧＩＧＡスクールの開始等により、対前年度比３億１，９４９万円、１１．０％の増で計上しました。

（単位：千円・％）

令和３年度	令和２年度	増減額	増減率
３，２３５，２２４	２，９１５，７３５	３１９，４８９	１１．０

⑥ 維持補修費

大雪に備えた道路除雪費の増額等により、対前年度比９，３１６万円、１９．２％の増で計上しました。

（単位：千円・％）

令和３年度	令和２年度	増減額	増減率
５７７，７６３	４８４，６０７	９３，１５６	１９．２

⑦ 補助費等

小中学校の給食費の半額相当の助成等により、対前年度比１億４，２２５万円、２．８％の増で計上しました。

（単位：千円・％）

令和３年度	令和２年度	増減額	増減率
５，２８６，７３２	５，１４４，４８０	１４２，２５２	２．８

〔主な負担金〕 （単位：千円）

事　業　名	令和３年度	令和２年度	増減額
消防組合負担金	８４６，７６７	８４６，８３１	△６４
広域衛生施設組合負担金	６０８，０１９	６４４，７８７	△３６，７６８
公立丹南病院組合負担金	３１１，２９０	３１２，５１５	△１，２２５
福井県丹南広域組合負担金	２２５，９２３	２１８，８５２	７，０７１

⑧ 繰出金

介護保険事業特別会計への繰出金の減等により、対前年度比２，９７７万円、０．２％の減で計上しました。

（単位：千円・％）

令和３年度	令和２年度	増減額	増減率
１，４６６，２４１	１，４６９，２１８	△２，９７７	△０．２

〔主な繰出金〕 （単位：千円）

会　計　名	令和３年度	令和２年度	増減額
介護保険事業特別会計低所得者保険料軽減繰出金	４１，５００	２２，５００	１９，０００
国民健康保険事業特別会計保険基盤安定繰出金	３０１，０８３	２８９，３４８	１１，７３５
介護保険事業特別会計介護給付費繰出金	６６６，０９０	６９５，８１０	△２９，７２０

⑨ 積立金

森林環境譲与税基金積立金の減により、対前年度比１６万円、０．６％の減で計上しました。

（単位：千円・％）

令和３年度	令和２年度	増減額	増減率
２６，７２５	２６，８８０	△１５５	△０．６

・財政調整基金積立金　8,000千円 →　8,000千円（　0千円）
・減債基金積立金　1,500千円 →　1,500千円（　0千円）
・森林環境譲与税基金積立金　11,000千円 →　9,420千円（△　1,580千円）

⑩ 貸付金

中小企業資金等預託金の皆減により、対前年度比４億９，６１０万円、９０．０％の減で計上しました。

（単位：千円・％）

令和３年度	令和２年度	増減額	増減率
５４，９１３	５５１，０１０	△４９６，０９７	△９０．０

7　令和３年度鯖江市当初予算における基金現在高

（単位：千円）

基金名		令和元年度末現在高	令和２年度中移動		令和２年度末見込額	令和３年度中移動		令和３年度末見込額
			積立額	取崩額		積立額	取崩額	
一般会計	財政調整基金	3,383,200	8,000	840,500	2,550,700	8,000	300,000	2,258,700
	減債基金	626,600	1,500	300,000	328,100	1,500	200,000	129,600
	温泉施設整備基金	110,000			110,000			110,000
	市民協働まちづくり基金	1,500	1,680	1,680	1,500	3,150	3,150	1,500
	安全・安心防災基金	－	2,500	－	2,500	2,500		5,000
	福祉基金	306,010	1,500		307,510	1,500		309,010
	森林環境譲与税基金	5,000	5,400		10,400	9,420		19,820
	ふるさと水と土保全対策基金	11,140	50		11,190	50		11,240
	公園整備等基金	326,750	50		326,800	50		326,850
	教育振興基金	110,000	600		110,600	600		111,200
計		4,880,200	21,280	1,142,180	3,759,300	26,770	503,150	3,282,920
特別会計	国民健康保険基金	307,210	10	90,000	217,220	10	70,000	147,230
	介護保険基金	495,910	350	94,000	402,260	350	34,000	368,610
計		803,120	360	184,000	619,480	360	104,000	515,840
合計		5,683,320	21,640	1,326,180	4,378,780	27,130	607,150	3,798,760

8　令和３年度鯖江市当初予算における市債現在高

（単位：千円）

区　分	令和元年度末 現　在　高	令和２年度末 現在高見込額	令和３年度中増減見込額 （当初予算ベース）		令和３年度末 現在高見込額
			借　入 見込額	元金償還 見 込 額	
一般会計	25, 475, 561	26, 150, 518	2, 470, 800	2, 648, 505	25, 972, 813
うち普通債	13, 834, 001	14, 554, 145	1, 190, 800	1, 742, 962	14, 001, 983
うち臨財債	11, 641, 560	11, 596, 373	1, 280, 000	905, 543	11, 970, 830
企業会計	24, 543, 391	23, 413, 921	994, 000	2, 008, 089	22, 399, 832
水道事業	3, 272, 777	3, 273, 919	190, 000	178, 087	3, 285, 832
公共下水道	19, 265, 230	18, 310, 066	715, 500	1, 624, 219	17, 401, 347
農業集落	2, 005, 384	1, 829, 936	88, 500	205, 783	1, 712, 653
合　計	50, 018, 952	49, 564, 439	3, 464, 800	4, 656, 594	48, 372, 645